

平成31(令和元)年度

事業報告及び決算書

公益財団法人 倉敷考古館

平成31年（令和元）年度事業報告

1. 遺物の蒐集及び展観 （定款 第四条の1）
 - ・ 倉敷考古館収蔵の考古資料をいつでも展観できるように常設展示を行った。
常設展示の範囲内で重要文化財ほか展示品のローテーション展示
 - ・ 秋の特別展「河井寛次郎古代と出会う・吉備の児島虎次郎 出雲の河井寛次郎」開催
 - ・ 測量調査成果展「黒宮大塚遺跡測量調査成果展」倉敷市埋蔵文化財センター共催
 - ・ 考古資料の貸出・寄託 （5件）
倉敷国際ホテル、兵庫県立考古博物館、備前市教育委員会、岡山大学、大阪市立大学
 - ・ 画像の貸出、掲載 （8件）
(株)キャデック、個人作家、兵庫考古博物館、笠岡市教育委員会、(株)敬文社、十日町市教育委員会、岡山大学、備前市教育委員会

2. 遺物の保管並びに保管の受託 （定款 第四条の2）
 - ・ 倉庫移動した資料の写真撮影、リスト制作、(継続)
問合せ頻度の高い資料から写真撮影、データベース入力
 - ・ 文献資料の使用頻度別の書庫整理、リスト制作

3. 遺跡・遺物の調査及び研究 （定款 第四条の3）
 - ・ 大学、研究機関、行政、博物館からの資料調査に対する協力（9件）
富山大学、学習院大学、岡山大学、南山大学、台湾中央研究院地球科学研究所、岡山理科大学、徳島文理大学、備前市教育委員会、兵庫県立考古博物館

4. 考古学に関する印刷物の刊行（定款 第四条の4）
 - ・ 倉敷考古館パンフレットの増刷
 - ・ 秋の特別展「河井寛次郎古代と出会う」写真図録

5. 考古学に関する集会、講演会（定款 第四条の5）
 - ・ 秋の特別展記念講演会「吉備の児島虎次郎、出雲の河井寛次郎」考古館第3室
 - ・ 岡山商科大学、就実大学、ノートルダム清心女子大学の博物館実習に関わる講習
 - ・ 体験ワークショップ開催（チルドレンズアートミュージアム特別協力含む）

6. その他必要な事業 （定款 第四条の6）
 - ・ 岡山大学と学術連携協定締結
 - ・ 倉敷美観地区 MUSEUM クラスター事業への参加
 - ・ 団体利用者に対する解説ガイド

7. 入館者の状況

年間 開館日数 260 日
同 休館日数 106 日

年間 入館者総数 3,283 名
一日平均の入館者数 13 名

(1) 月別の入館者数

月別	平成31(令和1)年度	平成30年度	平成29年度
4月	199	711	224
5月	425	242	571
6月	205	243	396
7月	177	101	279
8月	481	824	367
9月	278	226	195
10月	335	420	486
11月	381	419	271
12月	119	81	128
1月	227	182	149
2月	350	107	331
3月	106	204	186
合計	3,283	3,760	3,583

(2) 入館者種別の人数と入館料

種別	入館料 (円)	人数	金額 (円)
一般	500	812	406,000
〃 団体	400	549	219,600
(特別展)			
一般	700	286	200,200
一般 団体	560	250	140,000
小計		1,897	965,800
大学・高校生	400	118	47,200
〃 団体	320	35	11,200
(特別展)			
大学・高校生	600	27	16,200
大学・高校生 団体	480	18	8,640
小計		198	83,240
中学・小学生	300	67	20,100
〃 団体	240	317	76,080
(特別展)			
中学・小学生	500	7	3,500
中学・小学生 団体	400	19	7,600
小計		410	107,280
いきいきパスポート	150	49	7,350
学校メンバーズ制度 年会費		6校	288,400
学校メンバーズ入館者		101	-
年間パスポート	3,000	0枚	0
年間パスポート利用者	-	0	-
招待券等利用者	-	72	-
無料入館者	-	334	-
JRぐるりんパス	-	205	-
語らい座研修入館者	250	17	4,250
合計		3,283	1,456,320

展覧会名	入館者総数	期間
『河井寛次郎 古代と出会う 出雲の河井寛次郎 吉備の児島虎次郎』	846	9/20～11/24

JR岡山・倉敷ぐるりんパス (平成31年1月分から令和1年12月分まで)

	JRの販売枚数	金額 (円)
大人	2,337枚	255,906
小人	81枚	4,374
合計	2,418枚	260,280

8. 刊行物等販売状況

種別	数量	金額 (円)
解説	105	10,500
リーチ展図録	12	2,400
河井寛次郎展図録	33	6,600
絵ハガキ	175	6,050
絵ハガキセット	8	1,200
研究集報1号~13号	25	50,000
金蔵山古墳	1	15,000
拓本 大・小	58	7,000
拓本大・小 各セット	23	8,472
A4クリアファイル	23	2,300
チケットケース	20	2,000
一筆箋	27	2,700
しおりセット	7	350
合計		114,572

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
入館料	1,716,600	1,660,928	55,672
刊行物等収入	114,572	296,733	△ 182,161
手数料収入	272,400	225,500	46,900
寄付金収入			0
受取寄付金	9,295,010	9,712,040	△ 417,030
補助金収入			0
受取補助金	622,880	0	622,880
雑収益			0
受取利息	13	87	△ 74
資料貸与料	4,843,500	4,955,000	△ 111,500
雑収入	0	0	0
経常収益計	16,864,975	16,850,288	14,687
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	7,623,808	7,471,381	152,427
福利厚生費	1,130,247	859,986	270,261
旅費交通費	1,072	240	832
通信運搬費	76,333	94,616	△ 18,283
什器備品費	0	22,000	△ 22,000
修繕費	0	1,920,240	△ 1,920,240
賃借料	2,092,800	2,128,032	△ 35,232
警備費	475,364	512,573	△ 37,209
印刷製本費	362,363	803,857	△ 441,494
諸謝金	0	10,000	△ 10,000
調査整理費	0	0	0
リース料	689,334	668,390	20,944
減価償却費	47,178	47,178	0
雑費	158,829	588,464	△ 429,635
クラスター事業費	124,778	213,580	△ 88,802
管理費			
給料手当	1,905,952	1,867,845	38,107
福利厚生費	282,562	214,996	67,566
旅費交通費	268	60	208
通信運搬費	19,083	23,654	△ 4,571
消耗品費	135,428	168,799	△ 33,371
光熱水料費	244,679	285,891	△ 41,212
賃借料	523,200	532,008	△ 8,808
リース料	172,334	167,098	5,236
保険料	65,480	65,700	△ 220
図書新聞代	0	0	0
雑費	39,707	147,116	△ 107,409
経常費用計	16,170,799	18,813,704	△ 2,642,905
評価損益等調整前当期経常増減額	694,176	△ 1,963,416	2,657,592
所蔵品評価損益	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	694,176	△ 1,963,416	2,657,592
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	694,176	△ 1,963,416	2,657,592
一般正味財産期首残高	18,670,473	20,633,889	△ 1,963,416
一般正味財産期末残高	19,364,649	18,670,473	694,176
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	19,364,649	18,670,473	694,176

経常外費用計	0			0				0			0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額				0				0			0
当期一般正味財産増減額	694,176	0	0	694,176	0	0	0	0	0	0	694,176
一般正味財産期首残高	18,670,473			18,670,473				0	0		18,670,473
一般正味財産期末残高	19,364,649	0	0	19,364,649	0	0	0	0	0	0	19,364,649
Ⅱ 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額				0				0			0
指定正味財産期首残高	0			0				0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	19,364,649	0	0	19,364,649	0	0	0	0	0	0	19,364,649

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位 円)

科目	前年度決算額	決算	差額	備考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
普通預金	711,899	790,347	78,448	
定期預金	0	0	0	
流動資産合計	711,899	790,347	78,448	
2. 固定資産				
基本財産				
土地	4,052,000	4,052,000	0	
建物	2	2	0	
所蔵品	93,765	93,765	0	
特定資産				
所蔵品	13,258,000	13,258,000	0	
修繕引当預金	0	694,176	694,176	
その他の固定資産				
備品	44	44	0	
建物付属設備	554,763	507,585	▲ 47,178	
固定資産合計	17,958,574	18,605,572	646,998	
資産合計	18,670,473	19,395,919	725,446	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
預かり金	0	31,270	▲ 31,270	
流動負債合計	0	31,270	31,270	
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	0	31,270	31,270	
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産	0	0	0	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	18,670,473	19,364,649	694,176	
(うち基本財産への充当額)	(4,145,767)	(4,145,767)	0	
(うち特定資産への充当額)	(13,258,000)	(13,952,176)	694,176	
正味財産合計	18,670,473	19,364,649	694,176	
負債及び正味財産合計	18,670,473	19,395,919	725,446	

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金としている。	158,891
	預金	普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金としている。	604,248
		ゆうちょ銀行 振替口座	運転資金としている。	27,208
流動資産合計				790,347
(固定資産)	基本財産	土地	119.08㎡ 倉敷市中央一丁目3-13	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の事業施設に供している。 4,052,000
		建物	164.13㎡ 鉄筋3階建 倉敷市中央一丁目3-13	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の事業施設に供している。 1
			26.17㎡ 倉庫など 倉敷市中央一丁目3-13	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の管理施設に供している。 1
	所蔵品	縄文土器など84点	公益目的保有財産であり、展示事業に供している 不可欠特定財産である。 93,765	
	特定資産	所蔵品	銅剣など 2,007点	公益目的保有財産であり、展示事業に供している。 13,258,000
		修繕引当預金	表扉、階段などの修繕	公益目的保有財産であり、施設の修繕のための引当金 694,176
	その他の 固定資産	備品	展示ケースなど44個	公益目的保有財産であり、展示事業に供している。 44
	建物付属設備	倉敷市中央一丁目3-13 建物の電気設備工事	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の管理施設に供している。 507,585	
固定資産合計				18,605,572
資産合計				19,395,919
(流動負債)	預り金	職員の所得税預り	職員の所得税の預り金である。	31,270
流動負債合計				31,270
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				31,270
正味財産				19,364,649

公益目的保有財産の明細

財産種類別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の公益目的保有財産	使用事業
所蔵品	考古学資料84点 縄文時代資料65点 弥生時代資料5点 古墳時代資料12点 江戸時代資料1点 中国考古資料1点			公益目的事業
合計	93,765			

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
なし
- (2) 固定資産の減価償却について
法人税法に定める定率法又は旧定率法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
期末要支給額により計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
当課税期間は免税事業者である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	4,052,000	0	0	4,052,000
建物	2	0	0	2
所蔵品	93,765	0	0	93,765
小計	4,145,767	0	0	4,145,767
特定資産				
所蔵品	13,258,000	0	0	13,258,000
修繕引当預金	0	694,176	0	694,176
小計	13,258,000	694,176	0	13,952,176
合 計	17,403,767	694,176	0	18,097,943

3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
土地	4,052,000	0	4,052,000	0
建物	2	0	2	0
所蔵品	93,765	0	93,765	0
小計	4,145,767	0	4,145,767	0
特定資産				
所蔵品	13,258,000	0	13,258,000	0
修繕引当預金	694,176	0	694,176	0
小計	13,952,176	0	13,952,176	0
合 計	18,097,943	0	18,097,943	0

4. 担保資産の有無について

該当無し。

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、当期末残高について

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,404,000	2,403,998	2
備品	1,199,375	1,199,331	44
建物付属設備	704,160	196,575	507,585
合 計	4,307,535	3,799,904	507,631

6. 保証債務

該当無し。

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し。

8.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残額

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残額は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
平成30年度倉敷市まちづくり基金事業補助金	倉敷市まち・まちづくり推進課	0	520,000	520,000	0	
平成30年度地域の美術館・歴史博物館クラスター形成支援事業	文化庁	0	102,880	102,880	0	
合 計		0	622,800	622,800	0	

9.その他